

社会資本整備審議会道路分科会 平成 28 年度第 2 回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 28 年 10 月 21 日（金）13:00～14:30

2. 場 所

中国地方整備局 建政部

3. 出席者

＜委員＞

① ふじわら あきまさ
藤原 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

うちやま せいいち
内山 誠一 中国経済連合会 専務理事

はった のりこ
八田 典子 島根県立大学 総合政策学部 教授

やまだ ともこ
山田 知子 比治山大学 現代文化学部 マスコミュニケーション学科 教授

4. 議 題

（1）計画段階評価について

鳥取豊岡宮津自動車道：鳥取～福部（第 1 回）

5. 結論

計画段階評価の計画プロセスについては当委員会での意見を踏まえて検討し、意見聴取を行うことを了承する。

市街地を通過する道路であるため、ルート帯の検討にあたっては様々な課題が想定され、早い段階から市民と道路の必要性・公益性について共有する必要がある。そのため、対象者等、幅広い意見を確実に聴取するための計画プロセスを検討すること。

意見聴取にあたっては、渋滞緩和等の効果だけではなく、景観、環境面等、負の効果についても拾い上げる努力をすること。

6. 委員からの主な意見

(計画プロセスについて)

- ・企業や住宅が立地する市街地を通過する道路であるため、ルート帯の検討にあたっては、様々な課題が想定され、早い段階から市民と道路の必要性・公益性を共有する必要がある。
- ・そのため、幅広い意見を確実に聴取する計画プロセスを検討すること。
- ・住民のためのオープンハウスなのか、観光客のためのオープンハウスなのか、対象者を検討する必要がある。
- ・地域の課題における、意見聴取の対象者、何年後を見据えた意見聴取を行うのか等を整理する必要があり、並行してP I 手法（オープンハウスやワークショップ等）について検討すること。

(意見聴取について)

- ・意見聴取（第1回）で地域の課題が何であるのか絞り込む必要がある。
- ・渋滞緩和等の効果だけではなく、景観、環境面等、負の効果についても拾い上げる努力をすること。
- ・意見聴取の結果については、市街地、商業地等で意識が異なることが想定されるため、地区ごとに分析を行うこと。

(その他)

- ・首都圏等における道路整備の長期モニタリング結果を検証し、山陰道・鳥取道・山陰近畿道が結びつくことによる正の効果と負の効果を、長期・短期のそれぞれの視点で整理すること。